

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サムティ浜松市中区常盤町	階数	地上10F
建設地	静岡県浜松市中区常盤町132-17	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	54人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2023年5月10日
敷地面積	353㎡	作成者	柴田正広
建築面積	256㎡	確認日	
延床面積	2,189.63㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	「CASBEE静岡2016年版による評価結果」である。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
各住戸部分は区画し、遮音性能を高めている。外壁天井共に断熱材を充填し室温環境に考慮している	バリアフリーを考慮し、どなたでも住みやすい居住空間となるように努めている。内装も維持管理しやすい素材としている。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギーで評価クリアしている。	建築資材として、再生砕石を利用し考慮した。	緑地の確保、駐車場の確保、その他法令条例に準じた設備としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)サムティ浜松市中区常盤町	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.1	/5		ふつつ		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.3	/5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>			<b>3.1</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 外皮に断熱材を使用する</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 節水型の衛生機器を使用 F☆☆☆☆の裁量を使用</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>			<b>2.3</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>			<b>2.5</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>			<b>2.5</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑶敷地内温熱環境の向上) 特になし</li> <li>■敷地外環境対策 (⑳持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし</li> </ul>	Q-3 1 ⑵ 2 ⑲ 3 3.2 ⑶ LR-2 2 2.5 ⑳ LR-3 2 2.2 ⑮	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ景観への配慮 ⑶ 敷地内温熱環境の向上 ⑳ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善		